

概要

一般県道落合浪江線は、東日本大震災により大規模な斜面崩落が複数箇所が発生し、全面通行止めを余儀なくされました。更には原発事故により当該区間が避難指示となり、今まで詳細な被災状況を確認できませんでした。今年度より最新技術を駆使した被災箇所の詳細な調査を実施し、被災状況を把握できたため、今後は道路管理者と治山事業者（林野庁）と連携し、地域住民の生活に不可欠な**本路線の一日も早い復旧を図ってまいります。**

路線位置図



復旧までの流れ

◇詳細調査・被災箇所特定

●住民説明会
(本日)

◇復旧計画立案・災害査定

●事業説明会

◇用地取得(必要な場合)・工事着手

●用地説明会
●工事説明会

◇供用開始

今年度の調査内容

【調査の目的】

- ・ 被災箇所の特定制
- ・ 延長約 1.1 km

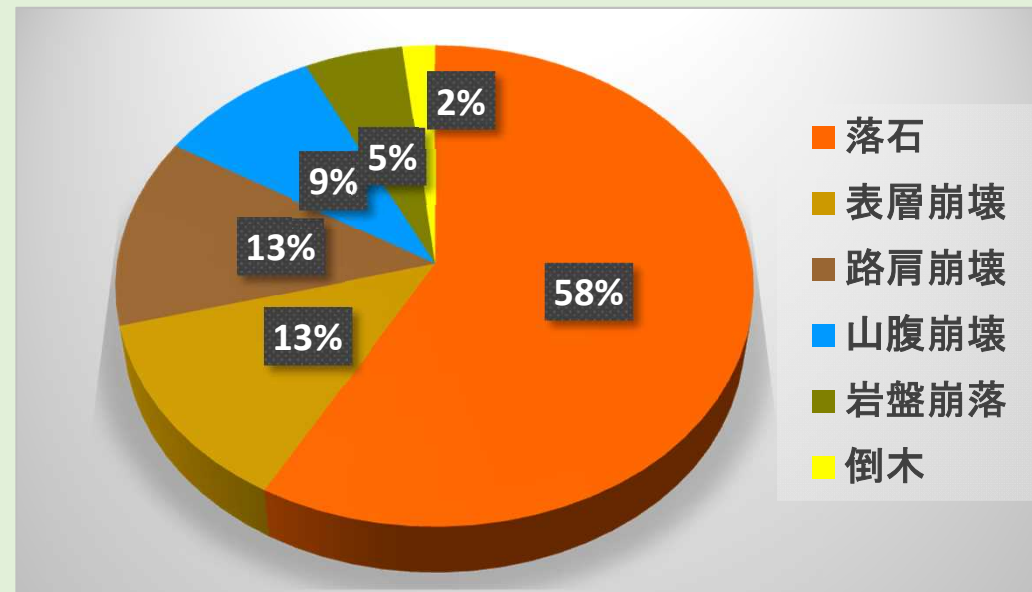
【調査内容】

1. 現地踏査
2. 地上計測
3. 車両による計測
4. 航空機による地形測量

※2.3.4は図面作成のための測量

今年度の調査結果

- 被災箇所数：55箇所
- 通行不能を伴う箇所（大規模）：5箇所
- 被災の特徴
 - ・ 落石や岩盤が崩落：35箇所
 - ・ 表層崩壊や山腹崩壊：12箇所
 - ・ 路肩崩壊等：8箇所



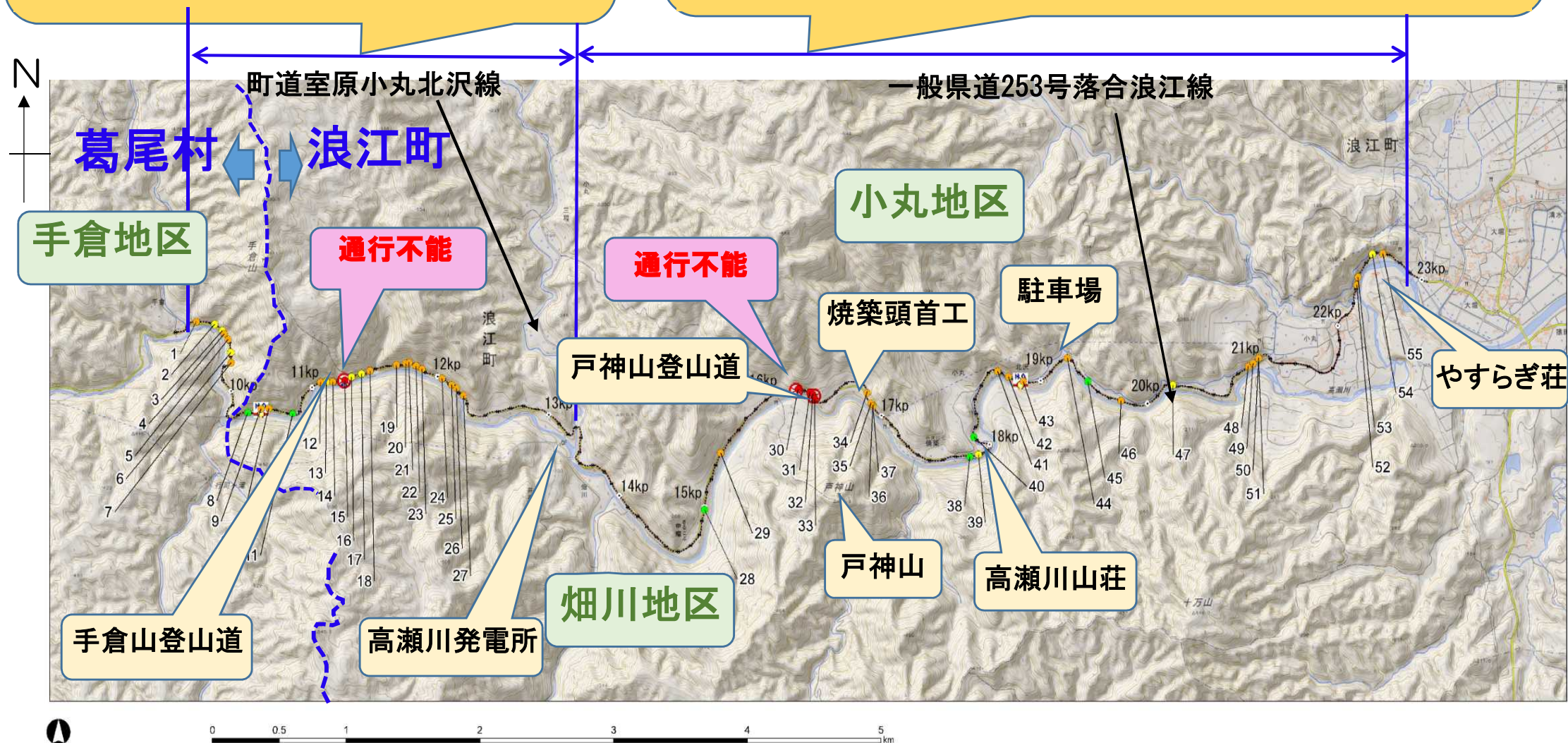
● 調査結果の概要 ～被災箇所～

【葛尾村側～町道室原小丸北沢線】

- ・主に落石被災箇所が連続する
- ・被災箇所27箇所(大規模で通行不能を伴う箇所1箇所)

【町道室原小丸北沢線～浪江町側】

- ・落石や山腹の崩壊、路肩崩壊箇所が断続的に続く
- ・被災箇所28箇所(大規模で通行不能を伴う箇所4箇所)

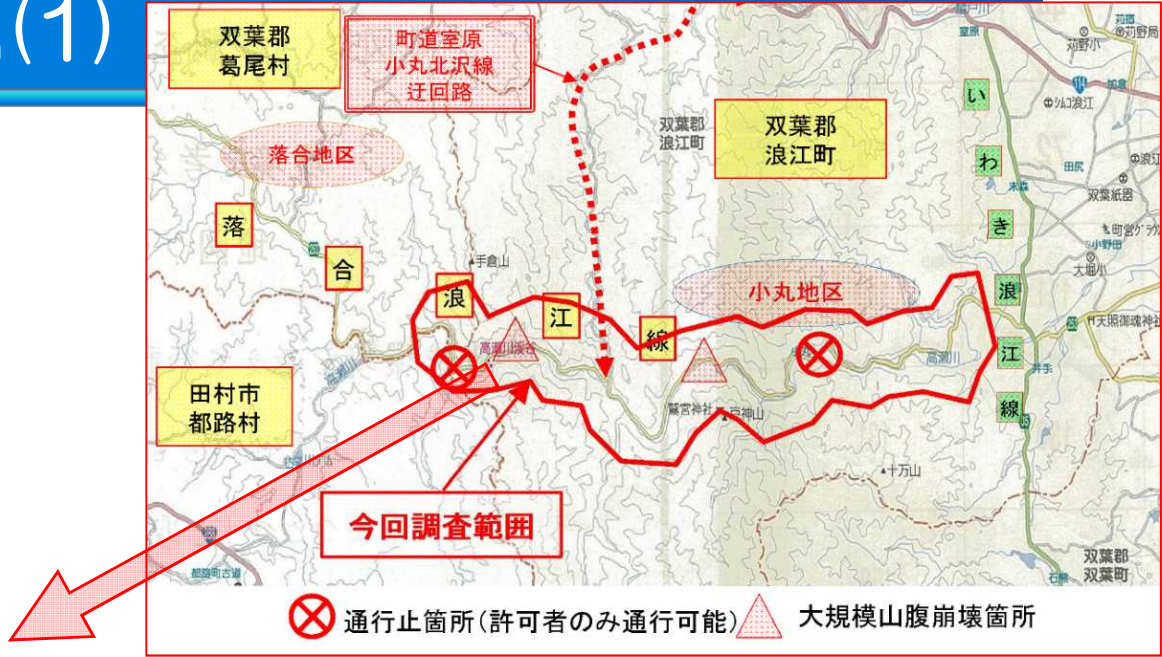


●代表的な被災状況(1)

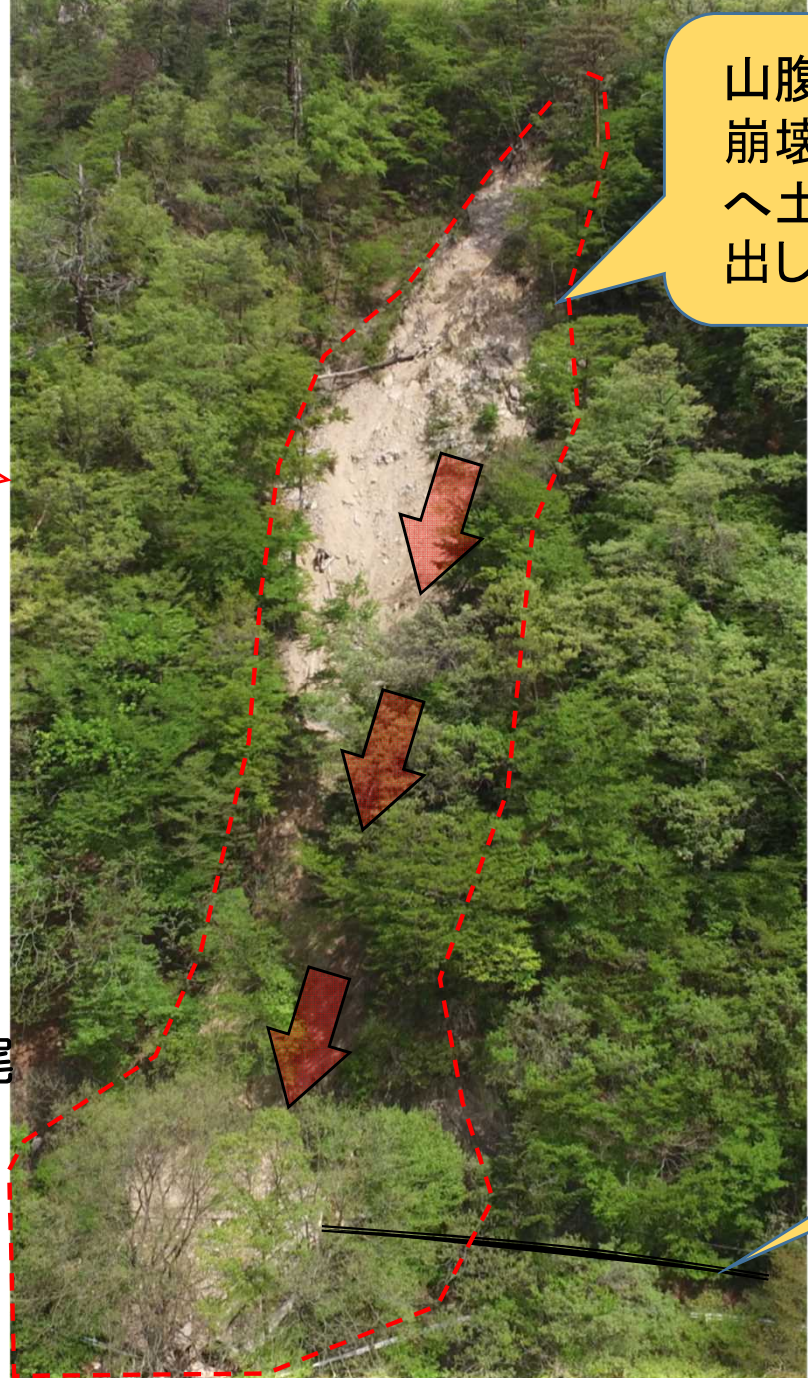
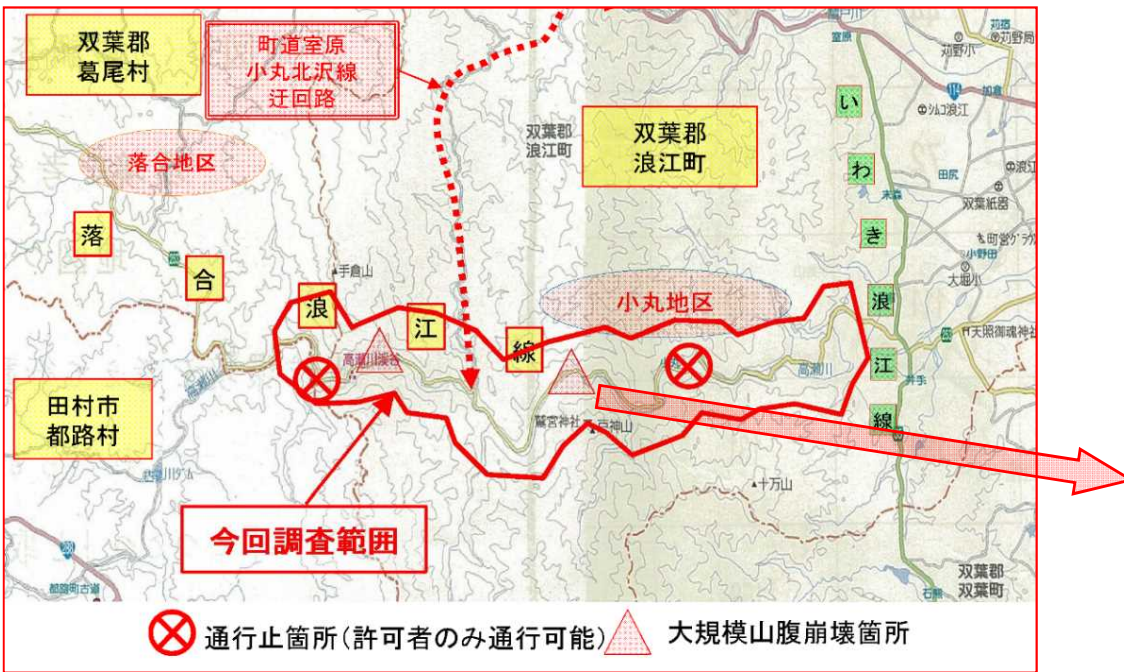
山腹から多量の土石が流下し、道路が破壊されています



数mの巨石を含む土石が堆積し、道路をふさいでいます



●代表的な被災状況(2)



山腹が大きく崩壊し、道路へ土砂が流出しています



至葛尾

土砂、倒木が道路をふさいでいます

至浪江

至浪江

道路

代表的な被災箇所の状況について、画像
をご覧ください。

- ・被災位置の上空からの画像
- ・被災斜面のパノラマ画像



●今後の予定について

	平成28年度	平成29年度	平成30年度以降
供用までの概略スケジュール	<p>→</p> <p>現地詳細調査 被災箇所特定</p>	<p>→</p> <p>詳細測量・地質 調査・詳細設計</p> <p>災害査定</p> <p>施工計画・関係機関協議</p>	<p>→</p> <p>保安林解除、用地買収</p> <p>工事着手</p>
説明会	<p>住民説明会 H29.3.19</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災状況の説明 概略スケジュール提示 	<p>事業説明会</p>	<p>用地説明会 (必要な場合)</p> <p>工事説明会</p>